

生活衛生課
保健予防課
健康推進課

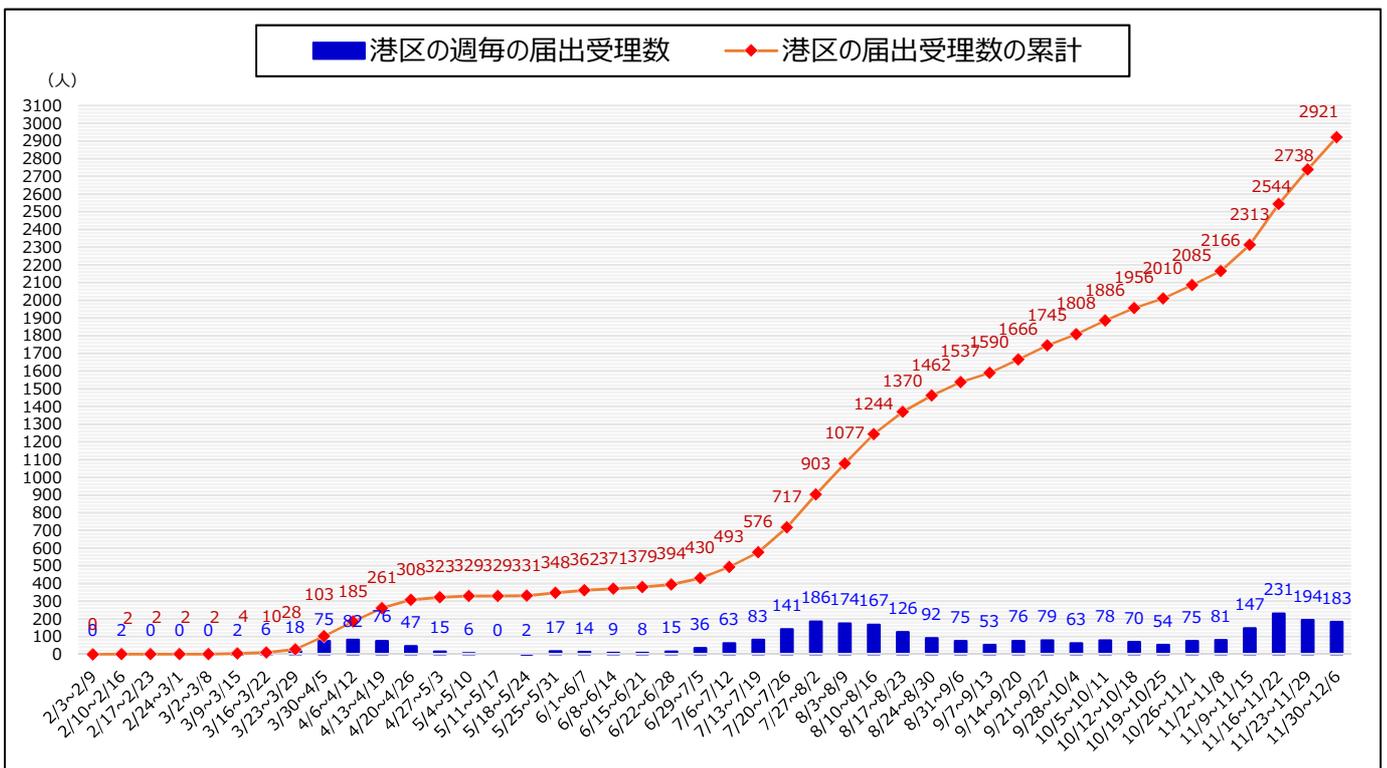
区内感染者数の推移及びみなと保健所による主な取組状況について

1 区内感染者数の推移

11月30日から12月6日までの週ごとの感染者数は183人で、前週と比較して減少しました。

感染原因として、家族内や同居者、職場での感染が確認されています。感染者が多く発生しているため、症状については軽症、無症状から緊急に入院が必要な人まで幅広くなってきています。

◆区内における新型コロナウイルス感染症の感染者数（みなと保健所発生届受理数）



(注：12月6日現在)

2 みなと保健所による主な取組状況

区は、感染症患者が急速に拡大した3月から4月にかけて、検査体制の強化や患者搬送の体制強化をはじめとした区民の生命と身体を守る取組を迅速に進めてきました。

現在は、保健師や事務職を人材派遣で順次配置するなど、体制整備を図りながら対応しています。

(1) 新型コロナウイルス感染症疑い患者への対応強化策

実施開始日	取組内容
4月13日から	民間検査機関を活用したPCR検査の導入 民間検査機関を活用し、安全・安心かつ迅速に検査結果が判明できる検査体制を強化しています。
4月16日から	港区医師会との連携によるPCR検査のための検体採取体制の強化 港区医師会からの医師派遣により、みなと保健所が実施する検体採取の人員体制を強化し、検査件数の増加に対応しています。 ----- 区が疑い患者の診察を依頼した診療所への謝礼経費の支出 当初は感染が疑われる患者を診察できる医療機関（クリニック）が限られていたために、区独自で謝礼を支出していました。しかし、現在は、受診やPCR検査を幅広い医療機関で実施できることとなったため、8月末で終了しました。
4月24日から	みなと保健所衛生試験所でのPCR検査の開始 区直営で実施した場合、最短で当日に検査結果が出るため、より症状の重い患者等緊急性が高いケースに対応が可能となっています。

◆PCR検査数（3月29日から12月2日まで）

2, 274件

（東京都健康安全研究センター 311件、区衛生試験所 112件、民間検査機関 1, 851件）

(2) 新型コロナウイルス感染症患者の搬送体制の強化

当初、感染症患者等を搬送する際は、受入先の医療機関を調整すると同時に民間救急コールセンターを通じて救急搬送会社を探していましたが、東京都と協定を締結している救急搬送会社は空きも少なく手配に時間がかかり搬送手段の確保が難航していました。

そこで、安全・安心かつ迅速に搬送できる体制を整備・強化するため、独自に搬送車両を確保する等の取組を実施しています。

実施開始日	取組内容
4月8日から	区が独自に搬送車両2台を確保（6月18日以降は1台）
4月15日から	区内企業から感染対策が施された搬送専用車両1台を無償貸与
6月18日から	東京都から感染対策が施された搬送専用車両1台を無償貸与

◆感染者の搬送実績（3月17日から12月2日まで）

709人（民間救急 29人、庁有車 11人、委託車両 669人）

(3) こころのサポートダイヤル

感染症に起因する心の不調を訴える区内在住・在勤・在学者の方に対して、精神保健福祉士や臨床心理士等の専門職が電話相談に応じています。

継続フォローが必要な方には適切な窓口につなぐことにより、区民の不安の軽減およびメンタルヘルスの向上を図っています。

◆実績

実施期間	4月28日から令和3年3月31日まで
実績	12月2日現在、これまでに277件の相談があり、年齢層は30歳代が多く、10歳代から90歳代まで幅広く相談があります。 また、最近の相談内容は、「生活の変化」に伴う相談が一番多く、GoTo～がよく分からず困る、マスクをしないことで周りからの敵意を感じる、テレワークのストレスなどの相談があります。次いで「経済問題」の相談が多く、「仕事がない」「各種給付金等知りたい」などがあります。 なお、相談者の2割の方には、他の相談窓口を紹介する等、継続支援に繋がっています。

(4) 健康観察システム

自宅療養中の軽症者や濃厚接触者の健康状態の変化に迅速かつ適切に対応するため、自身のスマートフォンやタブレットで体温や健康状態を報告する健康観察システムを開発、導入しました。

これにより、健康状態の変化を即時に把握できるため、病状の悪化等に迅速かつ適切に対応することが可能となります。

また、毎日の電話による健康状態の聞き取りがなくなり、健康観察者及び保健所職員の負担軽減を図ることが可能となります。

◆利用者数（12月2日現在）

306人（濃厚接触者 251人、検疫フォローアップ 21人、自宅療養者 34人）

(5) 感染症専門アドバイザーの設置

各区有施設が感染症の発生動向や頻繁にアップデートされる医学的知見を踏まえて、迅速に施設等の感染症対策を見直すことができるよう、感染症対策に豊富な経験がある専門職として「感染症専門アドバイザー」を配置しました。23区では初めての取組です。このことにより、各区有施設等の相談、訪問指導や事業への助言に応じる体制を整備し、感染症対策の向上を図っています。

■感染症専門アドバイザー

堀 成美氏（看護師、国立研究開発法人 国際医療研究センター国際診療部客員研究員）

■概要

ア 業務内容

- ・ 区有施設等や施設を所管する庁内各部署の感染予防に関する相談や訪問指導
- ・ 区内で発生した感染症集団発生事例の対策の助言 など

- イ 勤務体制
 - ・原則週2回（月曜・木曜）、午後1時～5時
- ウ 配置期間
 - ・7月2日から令和3年3月31日まで

■配置による効果

- ア 常に最新の知見や科学的根拠（エビデンス）に基づき、感染症予防対策を講じることが出来ます。
- イ 各区有施設等の感染症予防対策について、高い水準で均質化を図ることができ、区民に安全・安心な施設サービスを提供できます。
- ウ 感染症集団発生時に、的確なリスクアセスメントを実施し、感染拡大を最小限に抑えることができます。

◆相談等実績（7月2日から12月2日まで）166件

- ・各区有施設等の相談 117件
- ・施設訪問指導 24件
- ・患者発生時の訪問調査 13件
- ・港区議会新型コロナウイルス感染症学習会 1件（8月5日・25人参加）
- ・区保健師向け人材育成研修 1件（8月27日・28人参加）
- ・ふれあい相談員等向け研修 1件（9月3日・14名参加）
- ・区支所長等向け研修 1件（9月18日・20名参加）
- ・新型コロナウイルス感染症の予防に
関する講話(東京商工会議所) 1件（10月12日・15名参加）
- ・社会福祉協議会従事者向け研修会 2件
（10月26日 会場11名・オンライン20名 計31名参加）
（11月9日 会場17名・オンライン14名 計31名参加）
- ・介護、障害サービス従事者向け講演会 3件
（10月15日 介護45名・障害4名 計49名参加）
（10月29日 介護29名・障害12名 計41名参加）
（11月19日 介護53名・障害6名 計59名参加）
- ・令和2年度第1回港区文化芸術ネットワーク会議講演 1件
（10月27日 53団体81名参加）
- ・知恵と雅 感染症に負けない人と街講演 1件
（10月28日 一般28名・関係者39名 計67名参加）

(6) みなと新型コロナウイルス感染症対策オンライン研修

区民や港区を訪れる方が安心して飲食店等の施設を利用できるように、新型コロナウイルス感染症対策オンライン研修動画を作成し、区ホームページで公開しました。

港区感染症専門アドバイザーが、手洗い・手指消毒のポイントやマスクの使い方などの実践的な感染症拡大防止策を紹介しています。

◆実績

公開日	内容	時間
7月30日	主に区内事業者向けの一般的な対策 感染経路、手洗い・手指消毒方法、テーブルなどの拭き方等	7分37秒
8月20日	主に接待を伴う飲食店向けの対策 マスクが使えない時の工夫、待機時の過ごし方、換気方法等 ※一般社団法人日本水商売協会等の関係団体と協力して作成	15分23秒
10月22日	主に会社の経営者、衛生管理者、従業員及び利用者向けの対策 出社時や昼休み等の休憩時の対策、エレベーターでの対策、職場から陽性者が出た場合の対策等 ※東京商工会議所港支部と連携して企画し作成	8分26秒

(7) 令和2年度みなとプレママ応援事業

妊娠期から子育て期にわたり切れ目のない支援体制を強化し、港区で安全に安心して子どもを産み育てられるように、今年度、令和2年4月1日時点で妊婦の方及び今年度妊娠届を提出された妊婦の方を対象として立ち上げた事業です。

対象の妊婦の方全員にアンケートや電話相談を行い、心身の状態や家庭の状況等を把握し、母子保健サービス等の情報提供や必要に応じて継続支援に繋がります。

また、アンケートに回答された方にはもちろん、育児用品の購入等に利用できる「こども商品券」に加えて、新型コロナウイルスの感染予防に必要な物品の購入や健診等でのタクシー乗車にも利用できる「港区内共通商品券」を育児パッケージとして配布します。

◆実施期間 6月1日から令和3年3月31日まで

◆実績 12月2日現在で、2,044件のアンケートを受理
「こども商品券」及び「港区内共通商品券」は1,913件配布

(8) 相談件数実績（1月16日から12月2日まで）20,136件

内容	件数
陰性の証明書を求められた（求めたい）	255
疑い患者の対応	814
コロナにかかっているか心配（検査したい）	7,985
相談先の問合せ	2,671
その他	3,889
対応方法（発生時）	2,538
対応方法（未発生時）	1,878
予防法	106
合計	20,136

※帰国者・接触者相談センターの設置は1/31ですが、設置前からコロナに関する諸々な相談を受けています。

(9) 新型コロナウイルス感染者自宅療養支援事業

新型コロナウイルス感染症の感染により自宅療養されている方で、療養期間中、長きにわたって食料品等の確保が困難な方に対して、食料品等の自宅療養セットをお届けし、療養期間中の外出自粛を促すとともに周辺地域への感染拡大を防ぎます。

◆実施期間 12月3日から令和3年3月31日まで

(10) 診療・検査医療機関等における感染防止対策支援

国は、「次のインフルエンザの流行に備えた体制整備について」（令和2年9月4日付け厚生労働省発事務連絡）において、発熱患者等の相談又は診療・検査可能な医療機関を「診療・検査医療機関」として指定し、発熱患者等が帰国者・接触者相談センターを介することなく、かかりつけ医等の地域で身近な医療機関等を相談・受診し、必要に応じて検査を受けられる体制を整備する方針を示しました。

「診療・検査医療機関」をさらに拡充して、区民が安心して診療、検査を受けられる体制を強化するためには、医療機関における感染予防対策の徹底が必要です。

区では、港区医師会に加入している医療機関を対象として、PCR検査時の感染予防体制整備に係る経費を一部補助することで、流行期における診療・検査医療機関等の拡充を目指します。

◆支援の概要

ア 対象

港区医師会に加入し12月末までに東京都から指定を受けた診療・検査医療機関等（約200医療機関（予定））。

イ 内容

PCR検査（鼻咽頭ぬぐい時）の院内感染防止対策のためのアクリル板の飛沫防止スクリーン（医師会推奨）等購入の一部補助です。

① 補助金額等

上限30万円です。港区医師会を通じて各医療機関に交付します。これまでに、購入したのも対象とし、令和2年4月1日まで遡り補助します。

② スケジュール（予定）

令和2年12月中旬	港区医師会から該当の医療機関へ周知
令和2年12月下旬～1月中	各医療機関から港区医師会に申請
令和3年1月～	港区医師会から各医療機関に補助金交付